

**2020年12月期**

**決算説明会**

---

**2021年2月10日**

**荏原実業株式会社**



# 目次

1. 2020年12月期 サマリー
2. 事業概要
  - 事業概要
  - 環境関連（メーカー事業）一覧表
3. 2020年12月期 決算概要
  - 2020年12月期 連結決算報告
  - 2020年12月期 決算のポイント
  - 2020年12月期 セグメント別決算推移
  - セグメント別状況報告
  - 受注高・売上高・受注残高・売上総利益の推移
4. 2021年12月期 通期事業計画
  - 2021年12月期 連結通期事業計画
  - 計画の前提条件（セグメント別計画）
5. 外部環境と事業戦略
  - 外部環境と事業戦略
  - セグメント別戦略
6. 中期経営計画「EJ2023」
  - ビジョン・成長イメージ
  - 進捗状況
  - 方針
7. 資本政策・株主還元の方針
8. 資料編

## 1. 2020年12月期 増収増益

- 感染症対策製品の想定以上の需要増に加え、上下水道設備の更新需要が堅調、防災需要も増加し、受注高・受注残高も増加
- 2020年12月期 年間配当予定 60円 → 110円

## 2. 2021年12月期も増収増益を計画

## 3. 中期経営計画EJ2023の進捗状況

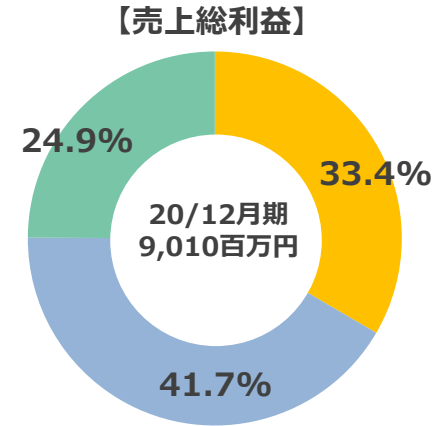
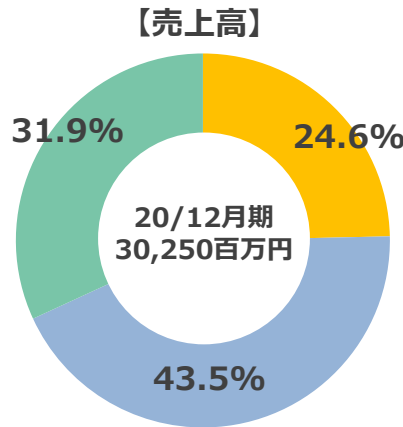
- 感染症対策製品の需要増に伴い23年12月期の営業利益目標を達成
- しかし、今後の需要動向には考慮すべき点もあり
- EJ2023の方針・アクションプラン等を再検討

## 4. 資本政策、株主還元の基本方針を改定

- 連結配当性向35%を目安とした安定的・継続的な配当  
(21年12月期 配当110円→140円へ)

# 事業概要

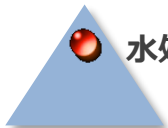
## 「3つの事業セグメント」



### 環境関連（メーカー事業）

計測、省エネ・創エネ、脱臭、水処理、医療等の分野で製品の開発から販売までを行う事業

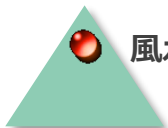
自社製品を扱う最も注力している事業  
利益率が高く、売上総利益構成比50%を目標



### 水処理関連（エンジニアリング事業）

上下水道関連施設の設計・施工からメンテナンスまでトータルサービスを展開する事業

更新・修繕需要や防災需要は堅調  
事業領域を開拓・拡大



### 風水力冷熱機器等関連（商社事業）

ポンプ、送風機、空調冷熱機器等の産業機械を商業ビル等の各種建築物や工場向けに販売する事業

主力のポンプのほか、新商材の取扱いにも注力  
再開発案件に対応

# 環境関連（メーカー事業）一覧表

分野	事業内容	主要顧客	製品例
計測	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 主に水処理で使われる計測機器の製造及び販売</li> <li>◆ 半導体分野向けの計測機器の製造及び販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 公共施設（高度浄水施設、下水処理施設）</li> <li>◆ 民間工場（半導体、液晶、食品など）</li> </ul>	 <p>高精度オゾンモニタ</p>  <p>半導体用オゾンモニタ</p>
省エネ・創エネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ZEB・ZEH関連製品の開発、設計、施工及び販売</li> <li>◆ 省エネプロワを中心とする送風機の製造及び販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 民間企業（空調機メーカー、オフィスビルなど）</li> <li>◆ 民間工場（食品、飲料、製紙、化学など）</li> </ul>	 <p>住宅用蓄電池</p>  <p>省エネプロワ</p>
脱臭	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 産業用脱臭剤を中心とする脱臭剤・装置の製造及び販売</li> <li>◆ 生物脱臭・脱硫装置の設計、製作及び販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 公共施設（下水処理施設、農業集落排水施設）</li> <li>◆ 民間工場（食品、飲料など）</li> <li>◆ 商業施設（除害設備）</li> </ul>	 <p>腐植質脱臭剤</p>  <p>生物脱硫装置</p>
水処理プラント	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 産業用水設備・産業排水処理施設の設計及び施工</li> <li>◆ 栽培漁業・養殖業及び水景施設向けエンジニアリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 民間工場（食品、飲料、製紙、化学など）</li> <li>◆ 公共施設（水産試験場など）</li> </ul>	 <p>高効率砂ろ過器</p>  <p>海水電解殺菌装置</p>
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 感染症対策、救急災害対策等、医療関連機器の開発及び販売</li> <li>◆ その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 医療機関、自治体、中央官庁など</li> <li>◆ 民間企業、民間工場など</li> </ul>	 <p>簡易陰圧装置</p>  <p>オゾン室内消毒装置</p>

# 2020年12月期 連結決算報告



増収・増益、受注高・受注残高も増加  
感染症対策製品、防災需要が増加

- ◆ 売上高 … 18億円増（前期比6.4%増）
- ◆ 当期純利益 … 8億円増（前期比54.9%増）
- ◆ 営業利益 … 12億円増（前期比58.8%増）
- ◆ 受注高 … 58億円増（前期比20.5%増）

(単位：百万円)	18/12月期		19/12月期		20/12月期		前年同期比	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
受注高	27,500	-	28,220	-	34,000	-	+ 20.5	+ 5,780
売上高	29,295	100.0	28,431	100.0	30,250	100.0	+ 6.4	+ 1,819
売上総利益	7,557	25.8	7,621	26.8	9,010	29.8	+ 18.2	+ 1,389
販管費	5,417	18.5	5,596	19.7	5,795	19.2	+ 3.6	+ 199
営業利益	2,139	7.3	2,024	7.1	3,214	10.6	+ 58.8	+ 1,190
経常利益	2,252	7.7	2,169	7.6	3,363	11.1	+ 55.0	+ 1,194
当期純利益	1,600	5.5	1,512	5.3	2,342	7.7	+ 54.9	+ 830
受注残高	19,190	-	18,978	-	22,727	-	+ 19.8	+ 3,749

# 2020年12月期 決算のポイント

## 市場環境

- ◆ 公共分野では、上下水道設備の更新需要が堅調に推移、防災需要も増加
- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策機器の需要が増加
- ◆ 民間分野では、景気の先行き不透明感から設備投資需要に停滞感

**受注高** 前年同期比 +57.8億円 (+20.5%)

- ◆ 雨水排水施設、上下水道設備の更新案件、感染症対策製品が増加

**営業利益** 前年同期比 11.9億円 (+58.8%)

- ◆ 人件費、研究開発費、減価償却費等の増加により販管費は増加するものの、売上総利益の増加により増益

**売上高** 前年同期比 +18.2億円 (+6.4%)

- ◆ 上下水道設備の更新案件、感染症対策製品が増加
- ◆ 民間設備投資案件は減少

**受注残高** 前年同期比 +37.5億円 (+19.8%)

- ◆ 環境関連、水処理関連で増加

**売上総利益** 前年同期比 +13.9億円 (+18.2%)

- ◆ 全てのセグメントで売上総利益率上昇 (26.8%⇒29.8%)

# 2020年12月期 セグメント別決算推移



		(単位：百万円)	18/12月期	19/12月期	20/12月期	前年同期比	
						増減率(%)	増減額
環境関連 (メーカー事業)	受注高		5,624	5,328	8,972	+ 68.4	+ 3,644
	売上高		5,397	5,296	7,456	+ 40.8	+ 2,160
	売上総利益		2,108	2,105	3,011	+ 43.0	+ 906

水処理関連 (エンジニアリング事業)	受注高		11,883	12,072	15,748	+ 30.5	+ 3,676
	売上高		14,167	12,544	13,155	+ 4.9	+ 611
	売上総利益		3,621	3,355	3,752	+ 11.8	+ 397

風水力関連 (商社事業)	受注高		9,992	10,818	9,278	▲ 14.2	▲ 1,540
	売上高		9,729	10,590	9,639	▲ 9.0	▲ 951
	売上総利益		1,827	2,159	2,246	+ 4.0	+ 87



# セグメント別 状況報告

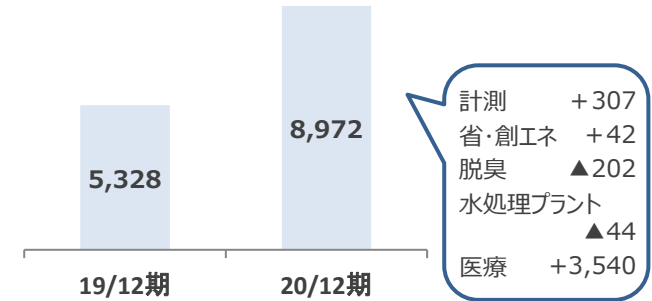
## 環境関連（メーカー事業）

受注高 +36.4億円 売上高 +21.6億円 売上総利益 +9.0億円

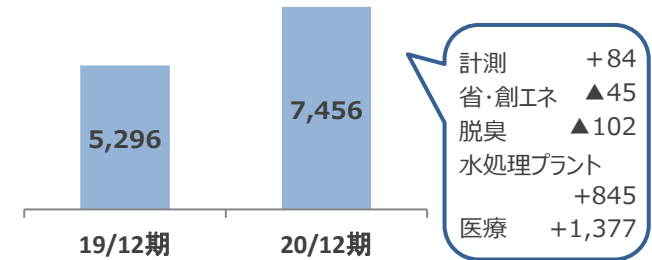
### ➤ 受注高・売上高

- 計測分野は、半導体需要が回復傾向
- 省エネ・創エネ分野は、ZEB・ZEH関連製品の認証取得に遅れ
- 脱臭分野は、工事を伴う案件の減少
- 水処理プラント分野は、大型の化学工場向け案件、水景施設が売上高に寄与
- 医療分野は、医療機関向け空気清浄機、陰圧装置等の感染症対策製品が増加

受注高（環境） (単位:百万円)



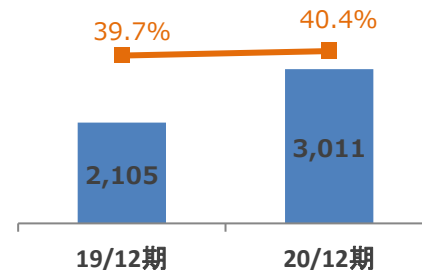
売上高（環境）



### ➤ 売上総利益

- 自社製品の優位性を生かした利益率を継続
- 売上高増加に伴い売上総利益も増加

売上総利益（環境） ■ 売上総利益率



# セグメント別 状況報告

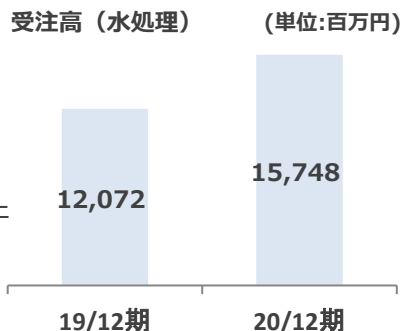


## 水処理関連（エンジニアリング事業）

受注高 +36.7億円 売上高 +6.1億円 売上総利益 +3.9億円

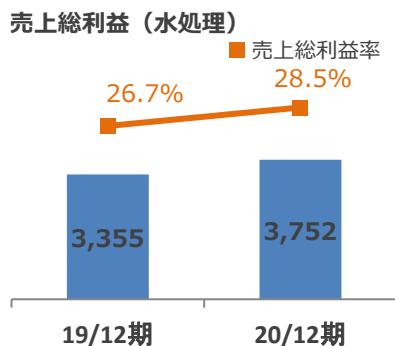
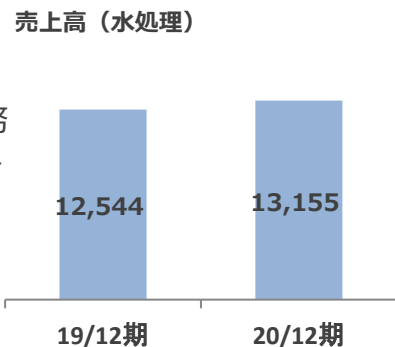
### 受注高・売上高

- 上下水道設備の更新需要増加
- 防災需要も増加
- 雨水排水施設関連の大型案件を受注



### 売上総利益

- 選別受注、原価低減活動、業務効率化などによる利益率の上昇

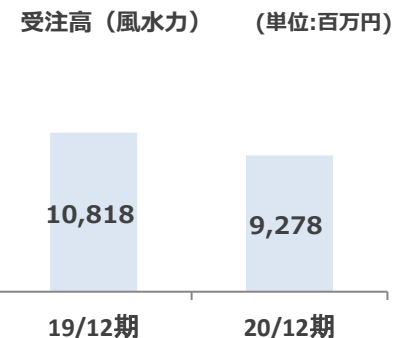


## 風水力冷熱機器等関連（商社事業）

受注高 ▲15.4億円 売上高 ▲9.5億円 売上総利益 +0.9億円

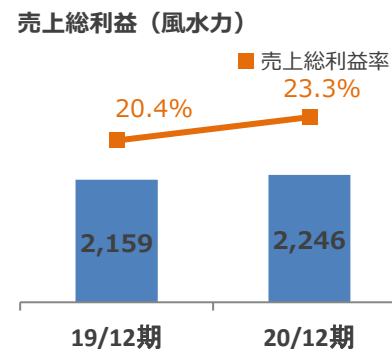
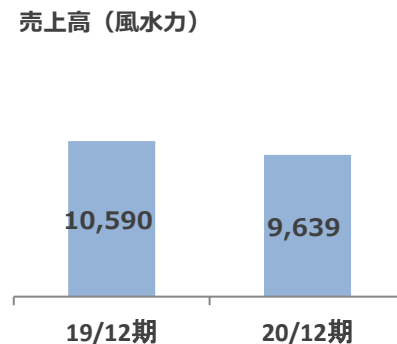
### 受注高・売上高

- 感染症の影響により経済活動が制限され、案件の延期等が発生
- 民間設備投資には停滞感も見られる



### 売上総利益

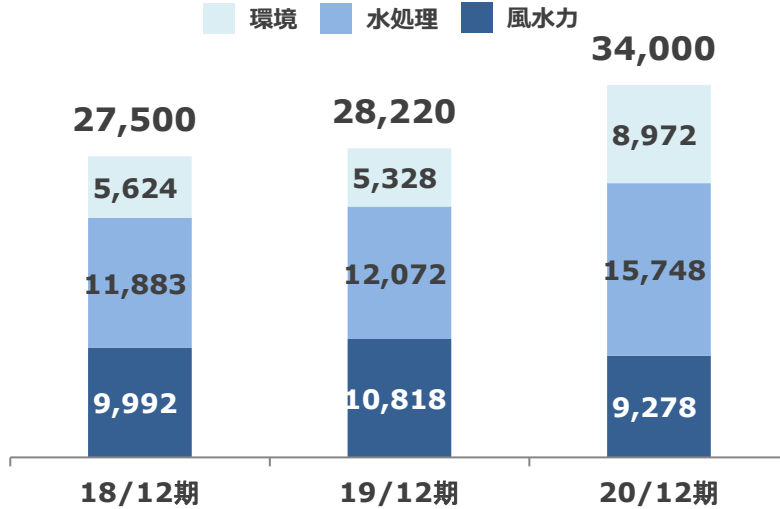
- 比較的利益率の高い案件が集中
- 選別受注、原価低減活動、業務効率化などによる利益率の上昇



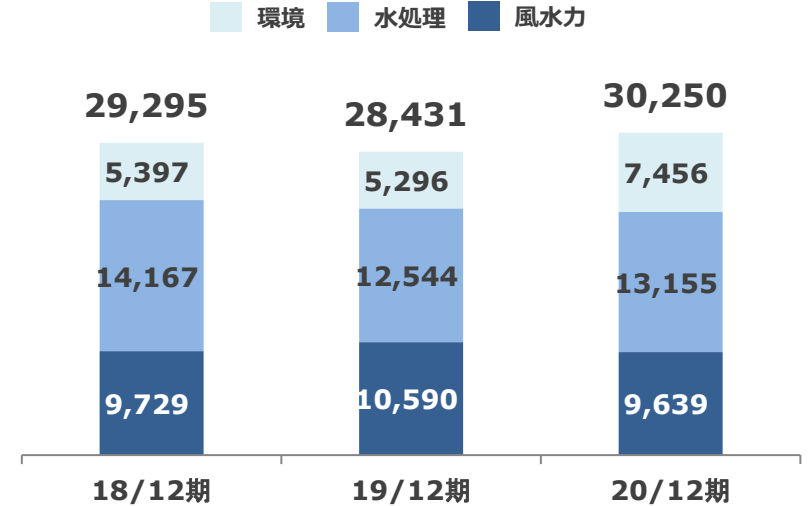
# 受注高・売上高・受注残高・売上総利益の推移

(単位：百万円)

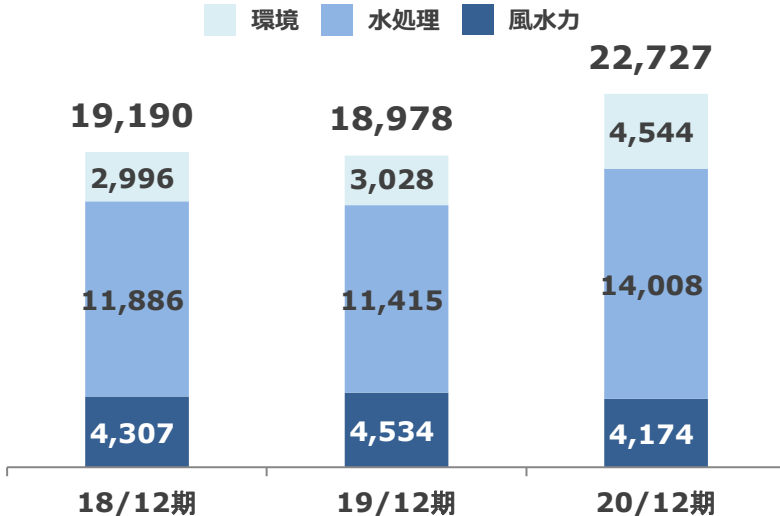
### 【受注高の推移】



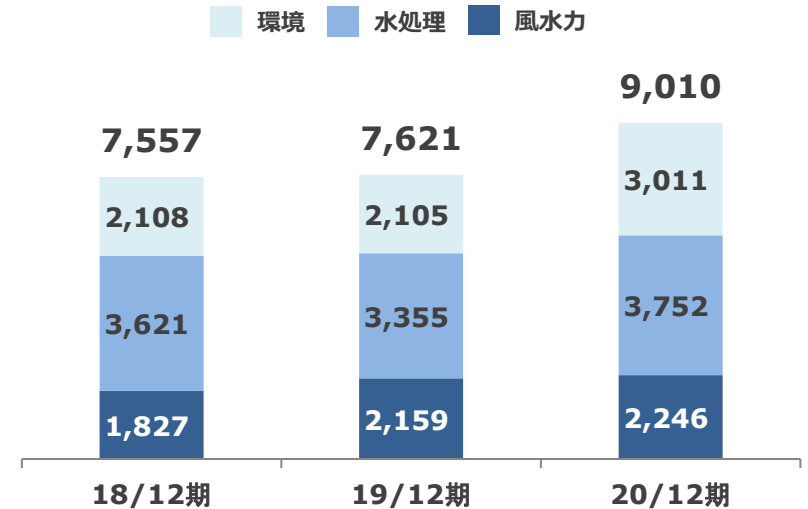
### 【売上高の推移】



### 【受注残高の推移】



### 【売上総利益の推移】



## 増収増益継続

- ◆ 受注残高増加を背景に売上高増加を計画
- ◆ 公共分野では、上下水道設備の更新需要、防災需要が引き続き堅調に推移する見込
- ◆ 感染症対策製品の需要動向は、補助金の動向が未確定なため、補助金が無い前提で計画

(単位：百万円)	20/12月期		21/12月期 計画		前期比	
		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
受注高	34,000	-	31,000	-	▲ 8.8	▲ 3,000
売上高	30,250	100.0	33,000	100.0	+ 9.1	+ 2,750
売上総利益	9,010	29.8	9,600	29.1	+ 6.5	+ 590
販管費	5,795	19.2	6,200	18.8	+ 7.0	+ 405
営業利益	3,214	10.6	3,400	10.3	+ 5.8	+ 186
経常利益	3,363	11.1	3,600	10.9	+ 7.0	+ 237
当期純利益	2,342	7.7	2,500	7.6	+ 6.7	+ 158
1株当たり配当金	110円	-	140円	-	+ 27.3	+ 30円

# 計画の前提条件（セグメント別計画）

## 環境関連（メーカー事業）計画

- 受注高
  - 計測分野、省エネ・創エネ分野が増加
  - 医療分野は、補助金が無い前提で減少を見込む
- 売上高
  - 受注残高を背景に医療分野が増加
  - 計測分野、省エネ・創エネ分野も増加
- 売上総利益
  - 利益率は例年同水準、売上高増加に伴い増益

環境関連 (百万円)	20/12月期	21/12月期 計画		前期比	
			構成比 (%)	増減率 (%)	増減額
受注高	8,972	7,400	-	▲ 17.5	▲ 1,572
売上高	7,456	9,200	100.0	+ 23.4	+ 1,744
売上総利益	3,011	3,700	40.2	+ 22.9	+ 689

## 水処理関連（エンジニアリング事業）計画

- 受注高
  - 前期大型の雨水排水施設受注の反動減
  - 上下水道設備更新需要は堅調
- 売上高
  - 受注残高を背景に増加
- 売上総利益
  - 利益率は前期並、売上高増加に伴い増益

水処理関連 (百万円)	20/12月期	21/12月期 計画		前期比	
			構成比 (%)	増減率 (%)	増減額
受注高	15,748	13,600	-	▲ 13.6	▲ 2,148
売上高	13,155	13,800	100.0	+ 4.9	+ 645
売上総利益	3,752	3,900	28.3	+ 3.9	+ 148

## 風水力冷熱機器等関連（商社事業）計画

- 受注高・売上高
  - 感染症拡大の影響による停滞から徐々に回復
- 売上総利益
  - 利益率は前期水準を下回る

風水力冷熱機器等関連 (百万円)	20/12月期	21/12月期 計画		前期比	
			構成比 (%)	増減率 (%)	増減額
受注高	9,278	10,000	-	+ 7.8	+ 722
売上高	9,639	10,000	100.0	+ 3.7	+ 361
売上総利益	2,246	2,000	20.0	▲ 11.0	▲ 246

### 販管費

研究開発費、人件費の増加を見込み約4億円（7.0%）の増加

### 営業利益

販管費の増加を売上総利益の増加が吸収し、増益を計画

# 外部環境と事業戦略

## 外部環境

- ◆ 人口減少・節水化
- ◆ 使用料収入減少
- ◆ 施設・設備老朽化
- ◆ 技術職員不足
- ◆ 自然災害多発

### ◆ 新型コロナウイルス

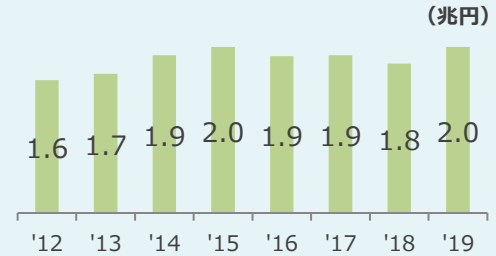
- ◆ インバウンド需要消滅
- ◆ カーボンニュートラル宣言
- ◆ グリーン成長戦略

## 需要動向

### 上下水道分野

- ◆ 国内需要は長期的には緩やかに減少
- ◆ イニシャル・ランニングコスト削減
- ◆ 省人化・省エネ化
- ◆ 遠隔監視・自動制御
- ◆ 防災・減災需要
- ◆ 広域化・集約化の機運の高まり

《上下水道関連工事受注高の推移》

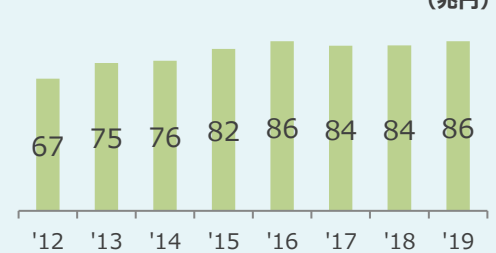


出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」より当社作成  
※数字は「下水道」と「上・工業水道」の合計

### 建築設備分野

- ◆ 感染症の影響による民間設備投資の低迷
- ◆ 工事の延期・計画の先送り
- ◆ 顧客ニーズの多様化・高度化
- ◆ 高度成長期に建造されたビルの老朽化

《建設工事受注高の推移》



出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」より当社作成

## 事業戦略

### メーカー事業（環境セグメント）を核とした成長基盤の構築

- ◆ 新事業の創出、新製品開発の加速
- ◆ 事業領域の拡大
- ◆ 安定的収益基盤の確立

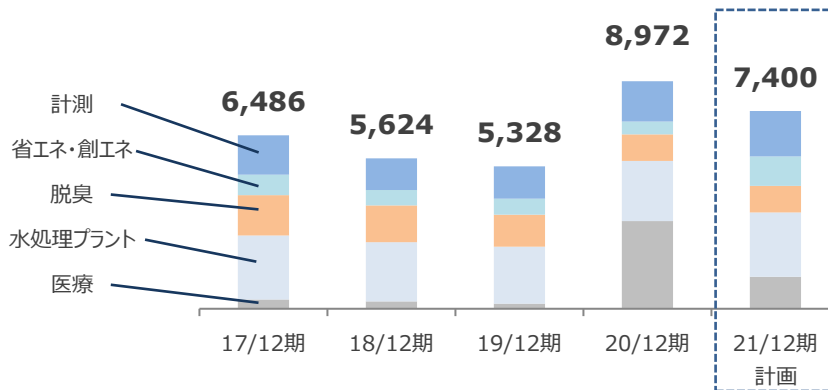
# セグメント別戦略 ～環境関連（メーカー事業）～

成長の核とすべく、ニッチ戦略と事業領域の拡大を進める

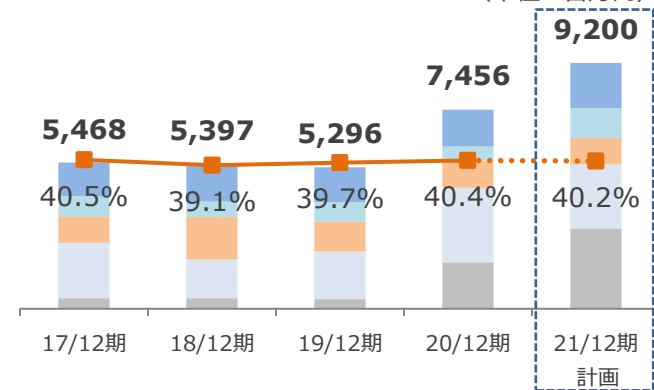
## 業績動向

- ◆ 新型コロナウイルス感染症への対策需要が増加
- ◆ 半導体業界の回復により計測分野の需要が増加
- ◆ 20/12期では、ZEB関連製品の進捗に遅れ

【受注高】 (単位：百万円)



■ 売上総利益率 【売上高】 (単位：百万円)



## 当社の戦略

### 1. 新製品の投入

→ ZEBに続き、ZEHの取組みを強化、感染症対策製品のラインナップ強化

### 2. 現有製品群のブラッシュアップ

→ 実績のある製品は利益を重視

「高度処理」「省エネ」「AI/IoT」「環境負荷軽減」「安心安全」のニーズに対応する形で競争力を強化

### 3. メンテナンス・サービスの強化

→ アフターサービスを充実させ、外部環境に左右されない収益基盤として育成  
感染症対策製品において、拡販した製品のアフタービジネス体制を整備

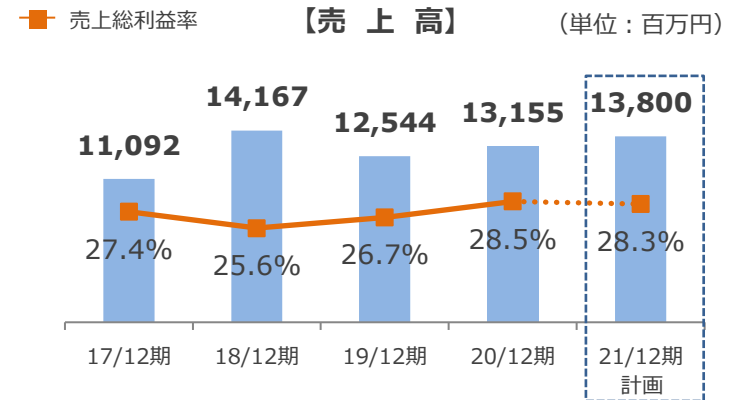
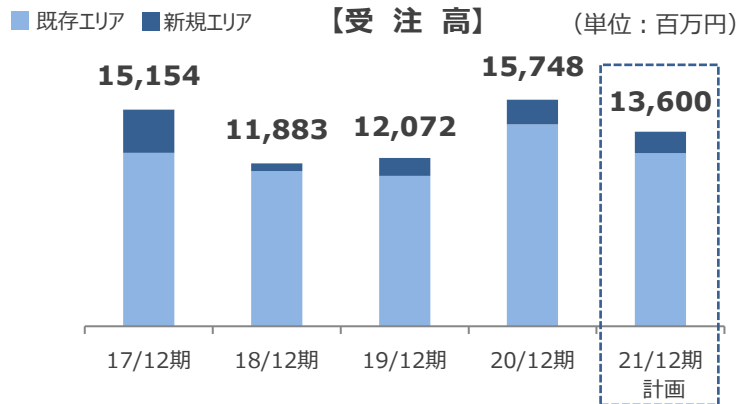
# セグメント別戦略 ～水処理関連（エンジニアリング事業）～



顧客軸・製品軸の両面から、事業領域を開拓

## 業績動向

- ◆ 上下水道設備の更新案件と自然災害多発による雨水排水施設案件の増加
- ◆ 採算を重視した受注と施工能力の強化により、利益率は上昇傾向



## 当社の戦略

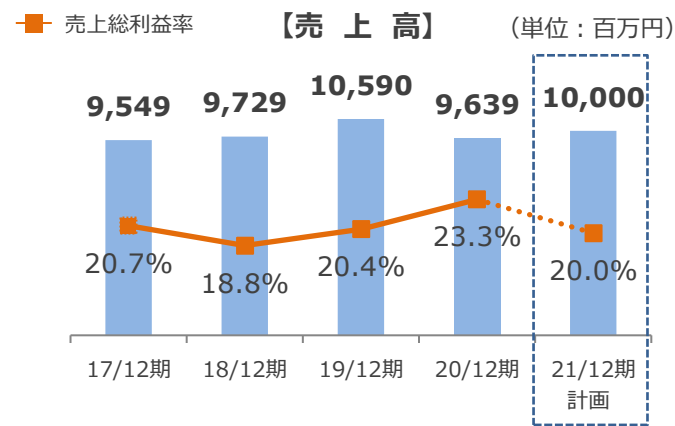
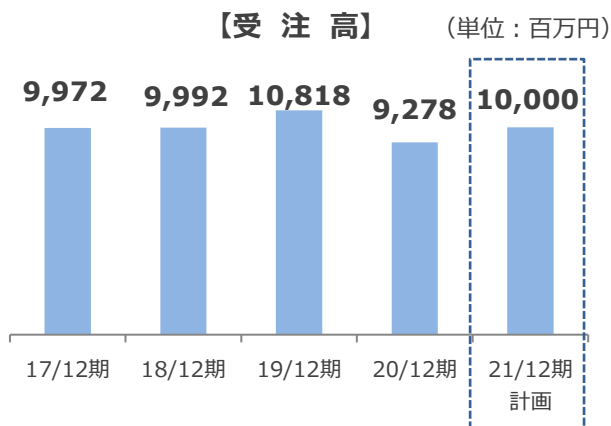
- 1. 選別受注、積算技術の向上、原価意識の徹底**  
→ 施工能力の向上・価格競争力の向上に向けた協力会社との連携強化
- 2. 実績の少ないエリアでの受注活動の強化**  
→ '18年の栃木県に続き、'19年には新潟県に拠点を開設
- 3. 防災需要への対応**  
→ 自然災害の多発を受けて、公共事業費が増額。ポンプなど排水設備の整備需要が拡大



## 創業以来の礎である収益基盤を着実に強化

### 業績動向

- ◆ 採算性を重視し、高水準の利益率を維持
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により、民間投資需要に停滞感



### 当社の戦略

1. ゼネコン・サブコン・メーカーとの連携強化  
→ 上流段階からの対応力向上とコスト競争力の向上
2. 多様な顧客層へのアプローチ  
→ 的確な対応と提案営業強化  
豊富な納入実績を活用した新規顧客の開拓

中期経営計画「EJ2023」  
資本政策・株主還元の方角性

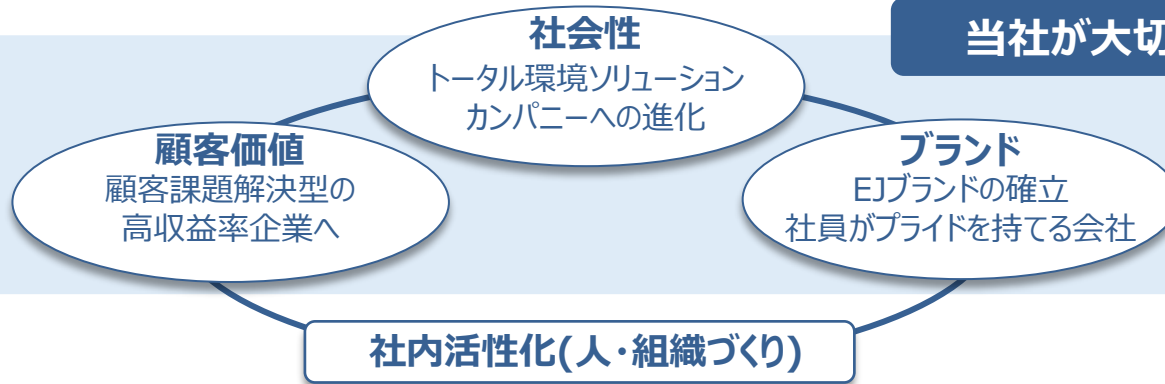
---



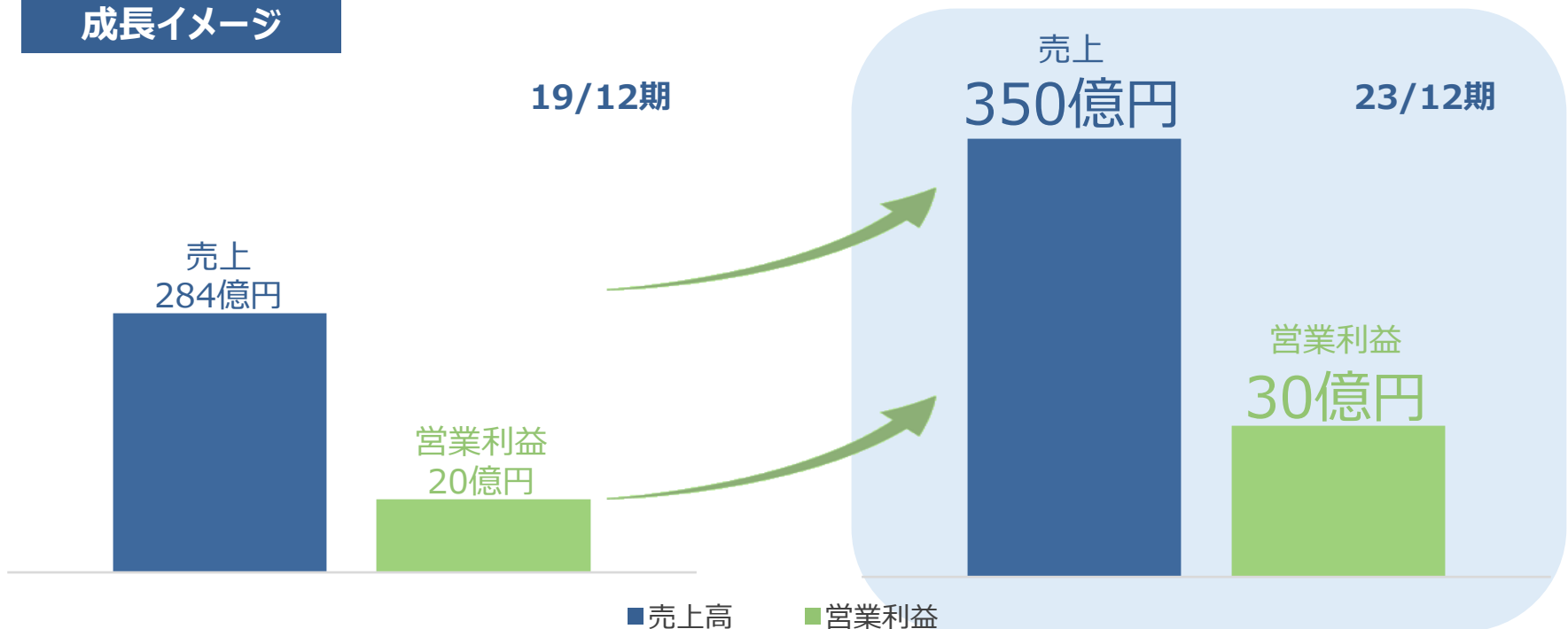
# 中期経営計画「EJ2023」：ビジョン・成長イメージ

## ビジョン

### 当社が大切にしている価値



## 成長イメージ



# 中期経営計画「EJ2023」：進捗状況

医療分野の需要増により営業利益目標を達成⇒需要動向、市場環境を再評価し、基本方針を見直す

## 進捗状況

(単位：百万円)	19/12月期		20/12月期		「EJ2023」 23/12月期計画		進捗率
	売上高	28,431	-	30,250	-	35,000	
環境関連	5,296	-	7,456	-	8,000	-	93%
水処理関連	12,544	-	13,155	-	15,000	-	88%
風水力関連	10,590	-	9,639	-	12,000	-	80%
売上総利益	7,621	26.8%	9,010	29.8%	9,500	27.1%	95%
環境関連	2,105	-	3,011	-	3,200	-	94%
水処理関連	3,355	-	3,752	-	4,000	-	94%
風水力関連	2,159	-	2,246	-	2,300	-	98%
販管費	5,596	-	5,795	-	6,500	-	89%
営業利益	2,024	7.1%	3,214	10.6%	3,000	8.6%	107%

進捗率90%以上

内容の再検討

E  
J  
2  
0  
2  
3  
の  
内  
容  
再  
検  
討

達成済み

# 中期経営計画「EJ2023」：進捗状況

## 達成できたこと

- ◆ 中期経営計画の主要目標である営業利益30億円を初年度で達成
- ◆ 売上総利益計画値95億円に対し初年度で95%の進捗率
- ◆ 環境関連売上高計画値80億円に対して初年度93%の進捗率
- ◆ 原価低減による収益性向上（26.8%⇒29.8%）

### 要因

1. 感染症対策製品の需要が大幅に増加
2. 自然災害多発を受け、防災需要の高まり
3. 選別受注、積算技術の向上、原価意識の徹底

## 課題

- ◆ ZEB、ZEH関連製品の認証取得に遅れが生じ、販売開始時期に影響
- ◆ エリア拡大（エンジニアリング事業、商社事業）が進まず
- ◆ アフターマーケットの獲得については一定の成果があったものの一層の強化が必要

### 要因

感染症拡大による経済活動の制限

## 今後のEJ2023

需要動向を踏まえ、事業環境の変化を反映した基本方針とアクションプランを改めて策定

# 中期経営計画「EJ2023」：方針

## 環境関連（メーカー事業）の拡大による飛躍的な成長を目指す

### 基本方針1：新事業の創出、新製品開発の加速

これまでの研究開発活動の成果を基に、新事業の創出、新製品の市場投入を加速

- ZEB、ZEH関連市場への進出
- オゾン技術を利用した新市場への進出
- 水産関連における省エネシステム
- 水処理×IoT/AI領域の製品開発

### 基本方針2：事業領域の拡大

既存事業の顧客、エリア拡大、顧客ニーズに対応する製品、技術、サービスを整備

- 上下水道事業のエリア拡大
- 商社事業のエリア拡大
- 防災需要への対応
- OEM製品および取扱製品の充実

### 基本方針3：安定的収益基盤の確立

既存事業の収益性を一層向上させ、ストックビジネスを強化

- メンテナンス体制を強化し、アフターマーケットを獲得
- 積算精度の向上による受注拡大
- 原価低減による収益性向上

# 資本政策・株主還元の方方向性

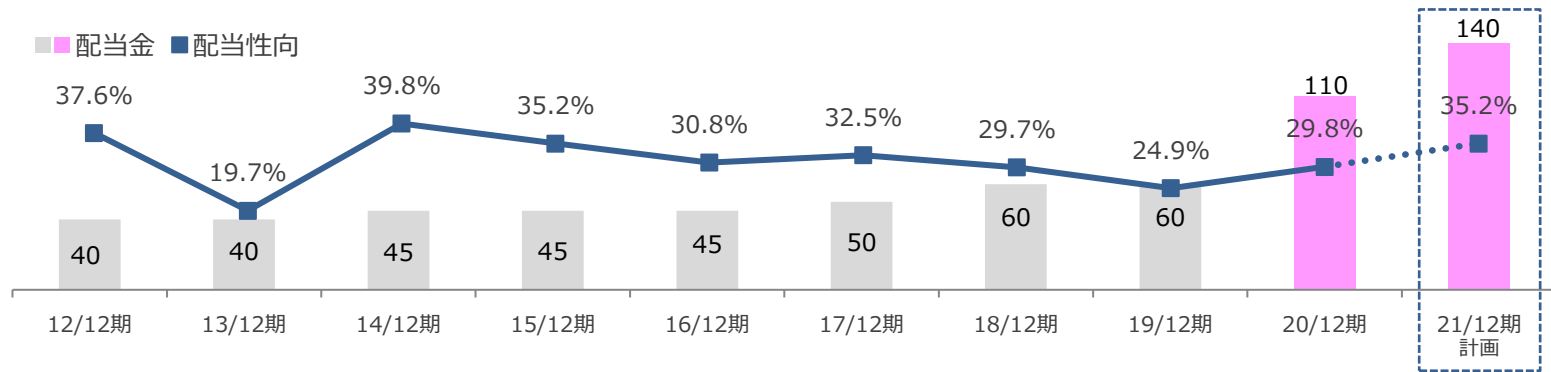
## 資本政策・株主還元の基本方針を改定

### 資本政策・株主還元の基本方針

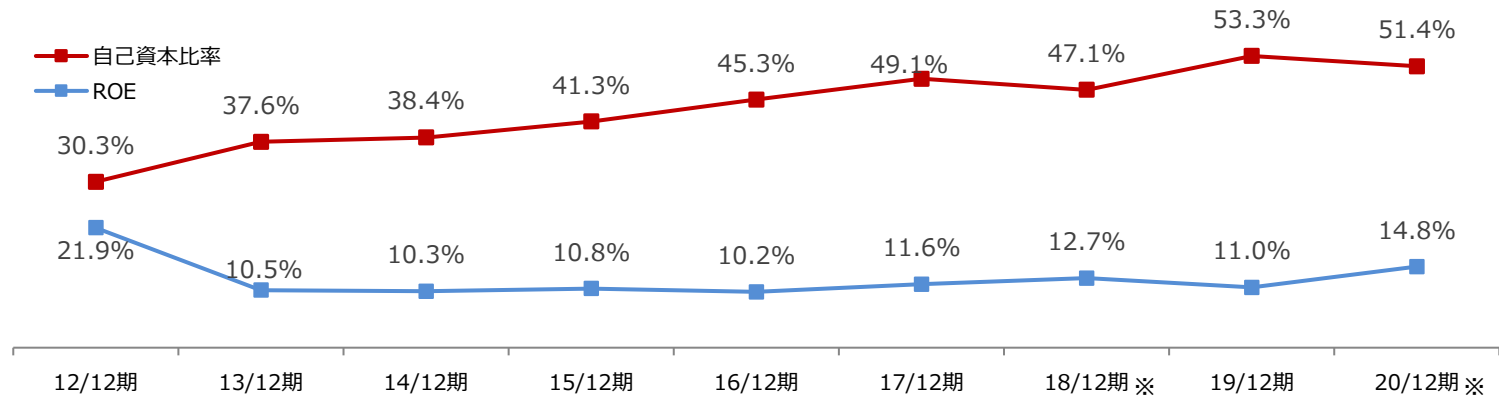
- ◆ 成長投資による利益拡大
- ◆ R O E は10%台前半の継続を目指す
- ◆ 連結配当性向35%を目安とした安定的・継続的な配当
- ◆ 自己株式取得を機動的に実施
- ◆ 財務健全性、資本効率、利益還元のバランスを追求

# 資本政策・株主還元の方向性

## 1 株当たり年間配当金の推移



## ROEと自己資本比率の推移



※経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため、自己株式の取得を実施  
 (取得の内容) 18/12期 取得株式数: 115,000株 発行済株式数に対する割合: 1.7%  
 20/12期 取得株式数: 307,500株 発行済株式数に対する割合: 4.6%



# 資料編

---



## 計測分野

### <事業概要>

- ・オゾンモニタを中心とする計測機器の製造及び販売
- ・主な販売先は、上下水道の高度処理施設や液晶・半導体工場（国内トップシェア）
- ・売上の半分をメンテナンスが占めており、業績は安定



高精度オゾンモニタ



半導体用オゾンモニタ



多項目水質計器

### <市場環境>

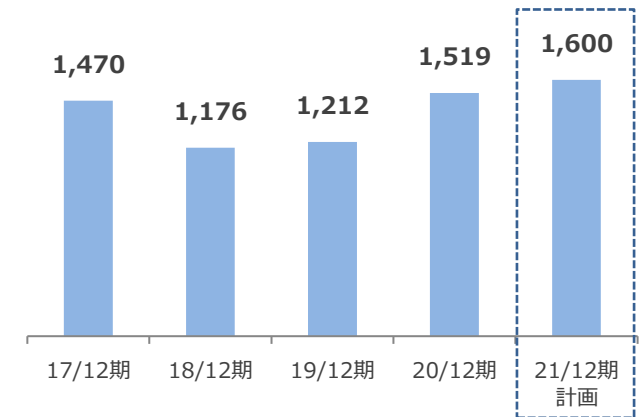
- ◆ 21/12期の上下水道の高度処理向けオゾンモニタは設備投資の谷間
- ◆ 半導体向けオゾンモニタは市場環境の回復に伴い堅調

### <事業戦略>

- ◆ オゾンモニタの新市場として海外を開拓（販売チャネル強化）
- ◆ 水質測定器及びオゾン発生器は、新規販路の拡大に向けた用途開発を継続
- ◆ 継続中の産学連携は、将来を展望し、事業化に向けた課題の克服に努める

【計測分野 受注高】

（単位：百万円）



## 省エネ・創エネ分野

### <事業概要>

- ・太陽光発電パネルや蓄電システム等、ZEH関連製品の開発及び販売
- ・高効率のターボブロワを中心とする送風機の製造及び販売
- ・MMR空調機・除湿機等、ZEB関連製品の開発、設計及び施工



住宅用蓄電池



省エネブロワ（民間向け）



MMR空調機

\* 従来の「省エネブロワ分野」と「その他（ZEB分野）」を統合

### <市場環境>

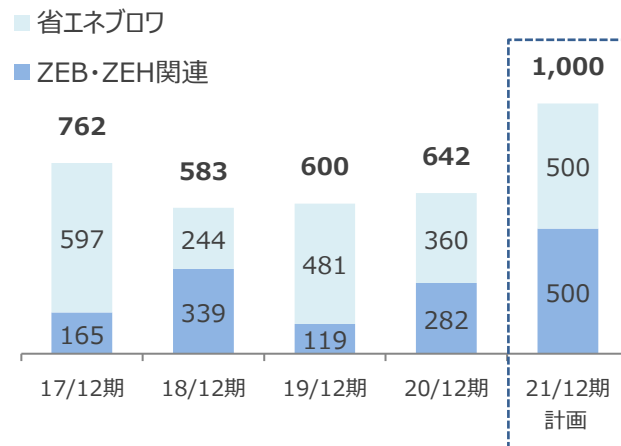
- ◆ 政府によるグリーン成長戦略等の環境政策の推進
- ◆ 住宅用太陽光発電設備は2019年11月よりFIT買取期間が順次終了
- ◆ 国内ZEB認定数は、建築コストが壁となり、漸増傾向ながら伸び率は緩やか

### <事業戦略>

- ◆ 住宅用リチウムイオン蓄電システムの販売を上期より開始
- ◆ 省エネブロワは、下水処理場における曝気用途で、顧客ターゲットと営業活動を実行
- ◆ MMR空調機及び除湿機は、設計段階での当社製品の採用を推進

### 【省エネ・創エネ分野 受注高】

（単位：百万円）



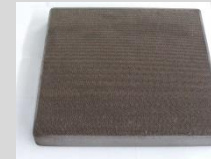
## 脱臭分野

### <事業概要>

- ・腐植質由来の産業用脱臭剤を中心とする脱臭剤・脱臭装置の製造及び販売
- ・主な販売先は、下水処理場と工場等の除害施設



ボエフ（腐植質脱臭剤）



EKOフィルタ



生物脱硫装置

### <市場環境>

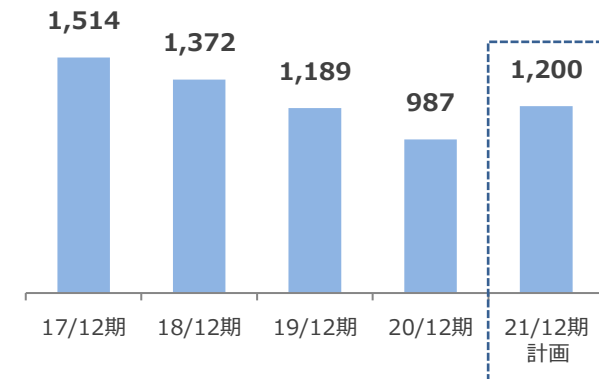
- ◆ 国内の産業用脱臭剤市場は長らく横這い
- ◆ 主力の脱臭剤ボエフは活性炭と競合  
長寿命、高湿度環境で優位等の特長
- ◆ 都市圏では雨水地下貯留施設の整備需要が顕在化  
（脱臭フィルタの需要増）

### <事業戦略>

- ◆ 産業用脱臭剤は、装置の工事を伴わない物販を推進  
（売上高は減少するものの、一定の利益を確保し、利益率改善）
- ◆ 脱臭フィルタは、内製化推進（コスト低減）と雨水地下貯留施設の需要へ対応
- ◆ 生物脱硫装置は、パートナー企業の探索など販売チャンネルを強化

【脱臭分野 受注高】

（単位：百万円）



## 水処理プラント分野

### <事業概要>

- ・産業用水設備・産業排水処理施設の設計及び施工
- ・養殖施設の設計及び施工、養殖業・栽培漁業向け装置の製造及び販売
- ・噴水等、水景施設の設計及び施工



排水処理設備



海水電解殺菌装置



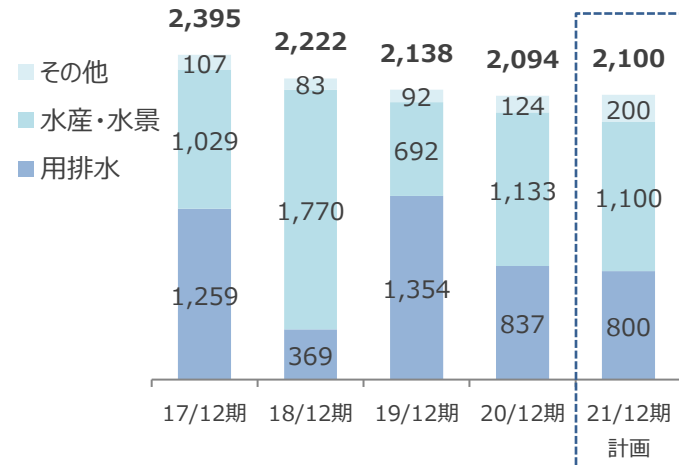
エコスイング（砂ろ過器）

### <市場環境>

- ◆ 化学・食品・飲料の業界は、国内工場数が多いものの新型コロナウイルスの影響により、排水設備工事等が延期
- ◆ ランニングコスト削減や省人/省エネ化の需要は、中長期的には拡大傾向
- ◆ SDGsの機運の高まり等により、陸上養殖に新規参入する企業は増加傾向

### 【水処理プラント分野 受注高】

（単位：百万円）



### <事業戦略>

- ◆ 産業用水設備と産業排水処理施設は、新規顧客開拓を推進（既存顧客への依存度縮小）
- ◆ 既存顧客へのメンテナンス・サービスの拡充
- ◆ 水処理×IoT/AI領域における事業機会の探索
- ◆ 陸上養殖システムの黎明期から蓄積した技術をもとに閉鎖循環式に加え、新魚種の取組みを強化

## 医療分野

### <事業概要>

- ・感染症対策製品の開発、設計、販売及びサービス
- ・主に、全国の医療機関及び社会福祉施設へ納入
- ・簡易陰圧装置は、2003年の販売開始以降、300か所超の納入実績を有する
- ・空気清浄除菌脱臭装置(FDSシリーズ)は、当社がフクダ電子株式会社より受託し、OEM供給



簡易陰圧装置



空気清浄除菌脱臭装置  
(医療従事者向け)

### <市場環境>

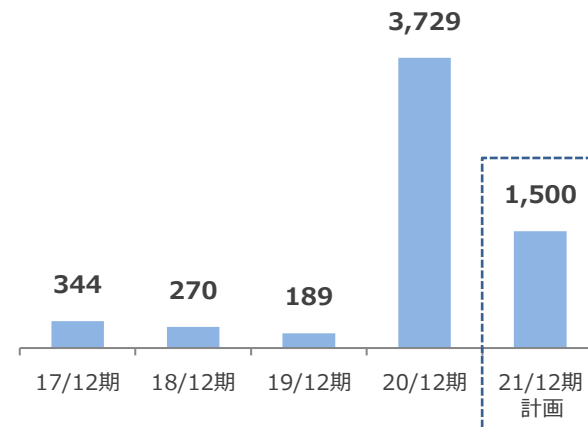
- ◆ 新型コロナウイルスの新規感染者数は年末年始に向け急増
- ◆ 簡易陰圧装置は、自治体による補助対象となった影響を受け従来の医療機関に加えて、社会福祉施設の需要が急拡大
- ◆ 2021年4月以降の補助金動向は現時点において未定

### <事業戦略>

- ◆ 全国の第二種感染症指定医療機関への納入実績を基に顧客基盤拡大を推進
- ◆ 累積納入実績を生かしたメンテナンス・サービス事業の拡充
- ◆ 生産管理体制及び品質管理体制の再構築（効率化）

### 【医療分野 受注高】

(単位：百万円)



# トピックス：感染症対策製品

## 簡易陰圧装置 ACEシリーズ

- ◆ プレフィルタ、紫外線ランプ、酵素HEPAフィルタのトリプル構造により、設置空間の空気感染リスクを低減
- ◆ CDC（アメリカ疾病管理予防センター）ガイドライン「空気予防策」に準拠
- ◆ 後付け可能で、既存の部屋を容易に陰圧環境に
- ◆ 医療機関以外にも、社会福祉施設に需要拡大



《ACE-5000》

## 空気清浄除菌脱臭装置 FDSシリーズ\*

- ◆ ハイパワー紫外線 + HEPAフィルタによる強力な除菌効果
- ◆ ハイブリッド脱臭システムにより、アンモニア、ホルムアルデヒド、酢酸等のガスを迅速に脱臭
- ◆ 医療機関以外にも、社会福祉施設、保育施設、商業施設などに納入

\* FDSシリーズは、当社がフクダ電子株式会社より受託しOEM供給



《FDS-ZERO》

## 業績動向

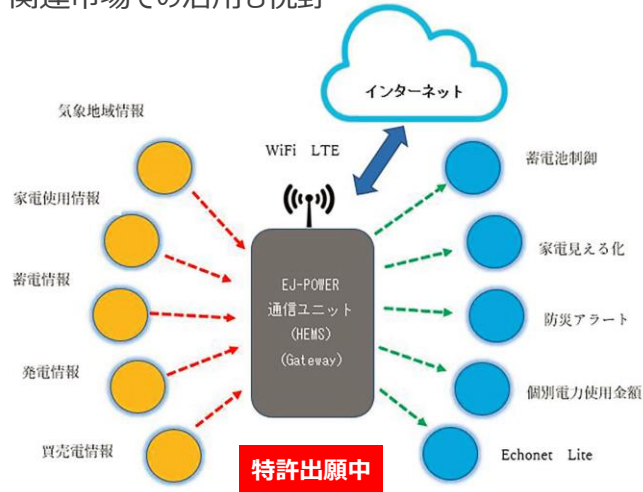
- ◆ 今期の受注残高を背景に、21/12期の売上は高水準の見通し
- ◆ 感染症対策製品の需要は、新型コロナウイルス関連の補助金が未確定であるため、補助金が無い前提で計画

医療関連 (百万円)	20/12月期	21/12月期 計画	前期比	
			増減率 (%)	増減額
受注高	3,729	1,500	▲ 59.8	▲ 2,229
売上高	1,733	3,000	+ 73.1	+ 1,267

# トピックス：蓄電池市場への進出

## 住宅用蓄電池

- ◆ 住宅用ハイブリッド蓄電池を上期より販売開始（予定）
- ◆ AI制御により節電効果を最大化
- ◆ 将来的にはVPP（仮想発電所）関連市場での活用も視野



住宅用ハイブリッド蓄電池  
EJ1-HB58シリーズ

## 子会社設立

- ◆ 的確な意思決定と、事業上の課題の迅速な克服を目的に子会社化
- ◆ コロナ禍の影響により、第三者認証の取得に遅れが発生  
⇒ 取得手続が無事完了
- ◆ 2021年12月期に数億円規模の設備投資を計画

**荏原実業パワー株式会社**  
EBARA JITSUGYO POWER CO.,LTD.

所在地	千葉県木更津市かずさ鎌足三丁目5番地1
事業内容	蓄電池及び蓄電設備の企画、製造及び販売等
資本金	100百万円
設立年月日	2020年12月

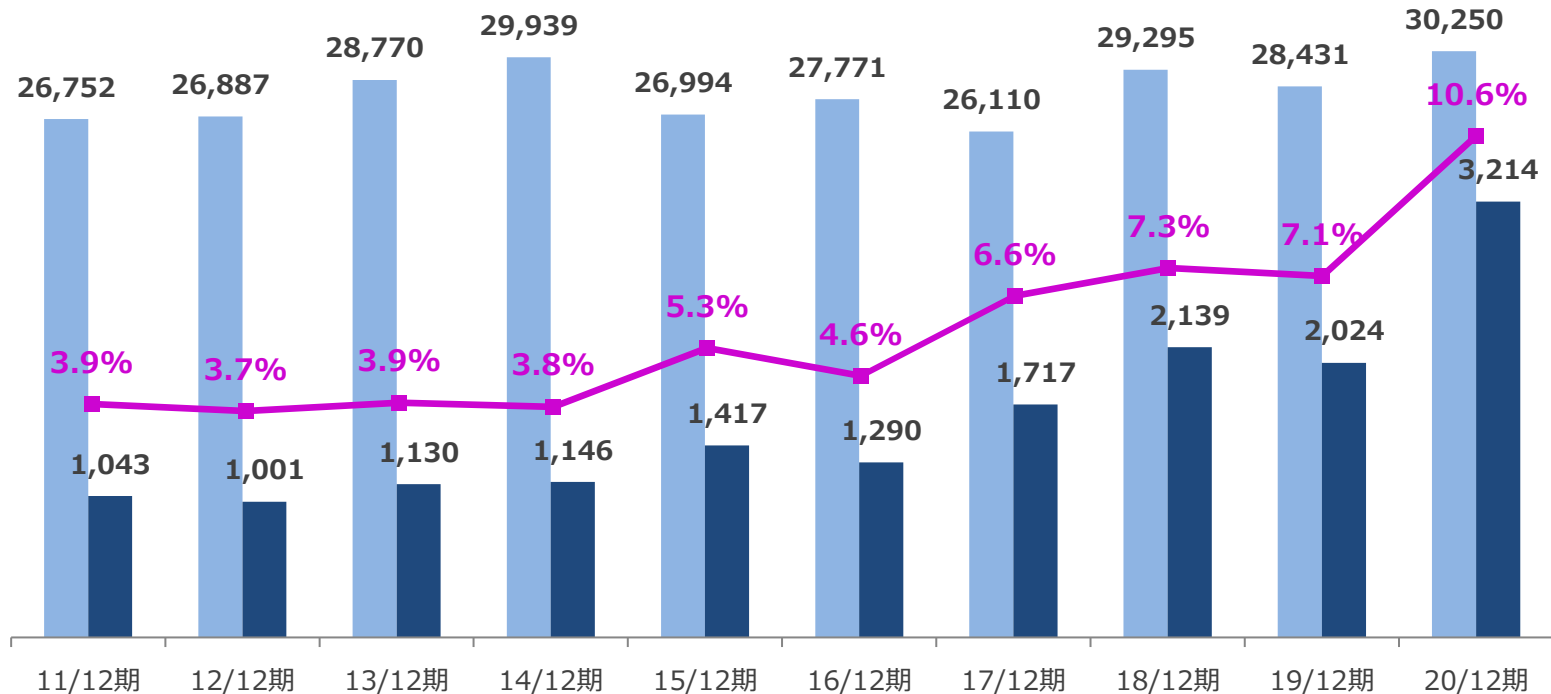


# 連結通期業績推移（過去10年間の業績）

◆ 安定した売上高と増益基調を維持

## 【売上高・営業利益の推移】

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 営業利益率



# セグメント別 業績推移 (通期)



		17/12月期		18/12月期		19/12月期		20/12月期		21/12月期	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比
(単位: 百万円)											
受注高	計測	1,470	+31.3%	1,176	△20.0%	1,212	+3.1%	1,519	+25.3%	1,600	+5.3%
	省エネ・創エネ	762	+72.0%	583	△23.5%	600	+2.9%	642	+7.0%	1,000	+55.8%
	脱臭	1,514	+48.6%	1,372	△9.4%	1,189	△13.3%	987	△17.0%	1,200	+21.6%
	水処理プラント	2,395	+84.0%	2,222	△7.2%	2,138	△3.8%	2,094	△2.1%	2,100	+0.3%
	医療	344	△19.8%	270	△21.5%	189	△30.0%	3,729	+1873.0%	1,500	△59.8%
	環境関連 (メーカー)	6,486	+50.4%	5,624	△13.3%	5,328	△5.3%	8,972	+68.4%	7,400	△17.5%
	水処理関連 (エンジニアリング)	15,154	+31.2%	11,883	△21.6%	12,072	+1.6%	15,748	+30.5%	13,600	△13.6%
	風水力関連 (商社)	9,972	+0.5%	9,992	+0.2%	10,818	+8.3%	9,278	△14.2%	10,000	+7.8%
	合計	31,614	+22.6%	27,500	△13.0%	28,220	+2.6%	34,000	+20.5%	31,000	△8.8%
売上高	計測	1,247	+13.4%	1,390	+11.5%	1,304	△6.2%	1,388	+6.4%	1,700	+22.5%
	省エネ・創エネ	761	+265.9%	572	△24.8%	734	+28.3%	689	△6.1%	1,100	+59.7%
	脱臭	994	△7.9%	1,588	+59.8%	1,118	△29.6%	1,016	△9.1%	1,000	△1.6%
	水処理プラント	2,073	+25.0%	1,454	△29.9%	1,784	+22.7%	2,629	+47.4%	2,400	△8.7%
	医療	392	△19.7%	393	+0.3%	356	△9.4%	1,733	+386.8%	3,000	+73.1%
	環境関連 (メーカー)	5,468	+20.6%	5,397	△1.3%	5,296	△1.9%	7,456	+40.8%	9,200	+23.4%
	水処理関連 (エンジニアリング)	11,092	△10.8%	14,167	+27.7%	12,544	△11.5%	13,155	+4.9%	13,800	+4.9%
	風水力関連 (商社)	9,549	△11.5%	9,729	+1.9%	10,590	+8.8%	9,639	△9.0%	10,000	+3.7%
	合計	26,110	△6.0%	29,295	+12.2%	28,431	△2.9%	30,250	+6.4%	33,000	+9.1%
売上総利益	環境関連 (メーカー)	2,215	+21.0%	2,108	△4.8%	2,105	△0.1%	3,011	+43.0%	3,700	+22.9%
	水処理関連 (エンジニアリング)	3,039	+6.0%	3,621	+19.2%	3,355	△7.3%	3,752	+11.8%	3,900	+3.9%
	風水力関連 (商社)	1,979	+0.8%	1,827	△7.7%	2,159	+18.2%	2,246	+4.0%	2,000	△11.0%
	合計	7,234	+8.6%	7,557	+4.5%	7,621	+0.8%	9,010	+18.2%	9,600	+6.5%
販管費	5,516	+2.7%	5,417	△1.8%	5,596	+3.3%	5,795	+3.6%	6,200	+7.0%	
営業利益	1,717	+33.1%	2,139	+24.6%	2,024	△5.4%	3,214	+58.8%	3,400	+5.8%	
営業外収益	194		211		210		209		280		
営業外費用	62		99		65		61		80		
経常利益	1,848	+30.1%	2,252	+21.8%	2,169	△3.7%	3,363	+55.0%	3,600	+7.0%	
特別利益	-		-		-		3		-		
特別損失	-		-		-		27		-		
税引前利益	1,848	+30.1%	2,252	+21.8%	2,169	△3.7%	3,339	+53.9%	3,600	+7.8%	
当期純利益	1,353	+31.4%	1,600	+18.3%	1,512	△5.5%	2,342	+54.9%	2,500	+6.7%	



総合企画室 TEL 03-5565-2885

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。